

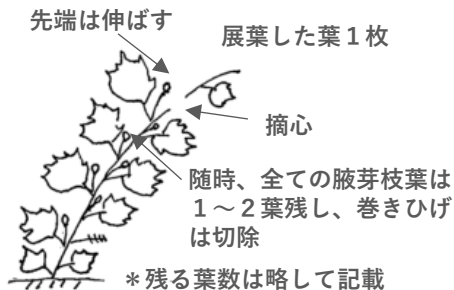
ブドウ「シャインマスカット」の新しい摘心時期と方法



「シャインマスカット」の従来の摘心は開花7日前頃から始めましたが、その判断は難しく、枝元から一定の葉を数えて作業するため、長い時間を要しました。また、摘心と果房管理の作業時期が重なり作業が集中するため、労力負担が大きかったという問題がありました。そこで、満開日を基準にした摘心の効果を検討した結果、作業性や果実品質が向上したため、その時期と方法を紹介します。



1 満開日頃から始める摘心

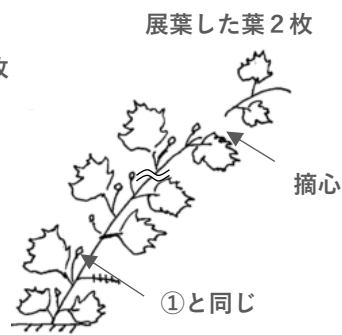


① 6月下旬（満開日頃）

* 満開日：樹全体の花穂が8割咲いた頃



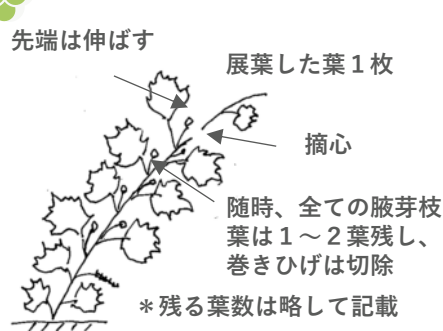
② 7月中旬



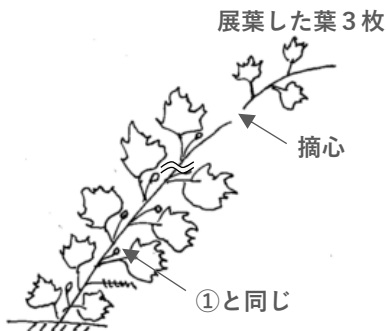
③ 8月中旬



2 満開10日後頃から始める摘心



① 7月上旬（満開10日後頃）



② 8月中旬

展葉した葉の大きさ

中心部の円の大きさ（直径）
10円玉大（22mm）以上

摘心の違いが新梢管理と果実品質に及ぼす影響(2024)

区	腋芽枝葉再伸長割合 (%)	新梢管理時間 (hr/10a)	果房重 (g)	1粒重 (g)	糖度 (%)
満開日	79	69.6	594 b	13.5 b	18.8
満開10日後	74	66.3	592 b	13.4 b	18.9
開花7日前	90	77.8	535 a	12.4 a	18.5

注) 異なるアルファベットは有意差あり

留意点

- 面積や労力に応じて1、2の摘心を選択します。
- 8月下旬以降も伸びる枝先は随時、切除します。
- 摘心と無核処理は同日に行っても問題ありません。
- 露地と露地雨よけ栽培での結果です。



お問い合わせ りんご研究所 県南果樹部 (Tel 0178-62-4111)

詳細は令和7年度参考となる研究成果（ぶどう「シャインマスカット」に適した摘心の時期と方法）をご参照ください。



青森産技

あomorの未来
技術でサポート